

事業所における自己評価結果(公表)

別紙3

公表:令和 5年 3月 1日

事業所名:バンビの家

事業所名:バンビの家

職員数:5名

回収数:5名

割合:100%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
環境・体制整備	①	利用者定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	コロナ感染防止のため、緊急事態宣言、まん延防止措置期間中は個別療育をした為、他部署のスペースを借りて療育を実施した。	簡素化、合理化できる所は行い、活動に支障がない環境構成を行う。コロナに配慮した環境整備を行っていく。
	②	職員の配置数は適切である	5	0	基準を満たしている。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	0		利用児の障害特性だけではなく、発達課題も考慮し、グループや個々に合わせた構造化を行っていく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	感染防止対策として、室内の消毒と換気を徹底している。	引き続き感染対策を行うと共に、それによる不便が無いように工夫していく。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	2	可能な限り全員参加している。	療育後の振返りの時間が充実できるよう工夫していく。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0		
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	4	第三者委員への報告会を実施し、業務改善につなげている。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1	リモート研修など、参加できるものは希望を募り、参加している。職員の伝達研修を行っている。 ・センター内心理士との勉強会を実施している。	引き続き研修等に参加すると共に、多職種と連携し職員にスキルアップに努めていく。
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5	0	保護者からの聞き取り、太田ステージでお子さんの様子を確認したうえで個別支援計画を策定している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	太田ステージを実施している。心理で行っている発達検査の評価を参考にしている。	

援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0		
適切な支援の提供	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	担当制の中で、チームで行っている。	事前のロールプレーを行い、より合理的な活動になるようにしていく。
	⑮	活動プログラムを固定しないように工夫している	5	0	利用者の状況に合わせてプログラムの修正を行っている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	0	利用者の個々の課題に合わせて療育形態を実施している。	今後のコロナによる環境変化も考慮した活動を立案していく。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	業務と時間的な兼ね合いで参加できていないところがあるが、大事はポイントは共有できている。	振り返りの時間の充実を図っていく。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0		
	関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	0	保護者の要望、了承があれば母園への訪問をおこなっている。	感染対策を行った上でやっていく。
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行っている			非該当	
㉔		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			非該当	
㉕		移行支援として保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	保護者の要望により行っている。	随時情報収集に努め、連携を行っている。

	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	主としては保護者を通して行っているが、保護者の希望、要望があれば直接情報共有をおこなっている。	就学に向けての保護者向けの説明会を実施する。
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0		随時情報収集に努め、連携を行っている。
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等と交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	5		利用者が母園に通いながら療育を受けている為非該当。 荘内の夏祭りが開催されたが、コロナ禍による制限があったため、近隣の方のみお知らせをした。
関連機関や保護者との連携	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	4		感染対策を行った上、情報収集や参加に努めていく。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	療育後の振り返りの時間を利用し、情報共有をしている。	
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	2	適宜サポートブックの作成方法などをご案内した。年度内にサポートブック作成の研修を実施する予定。	コロナの影響も踏まえ、可能な限りで行っていく。
	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	契約時におこなっている。	
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0		
保護者への説明責任等	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援支援を行っている	5	0	主には療育後の振り返りの時間を利用しているが、要望があれば別途個別対応ができるようにしている。	振り返り時間の充実を図ると共に、振り返り以外でも相談に対応していることをお伝えしていく。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0	卒園児の保護者に対し、在園児保護者からの質問をアンケートで聞き取り、情報を提供した。	コロナ禍の為、父母の会活動や保護者会(卒園児の保護者を囲む会)が開催されなかった。来年度は、感染状況により検討していく。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0		組織として体制を整えていることを、契約時のみではなく常日頃からアナウンスしていく。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	毎月発信している。	
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0		母園とのやり取りなど、コロナの影響を踏まえ、より一層注意していく。
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4		コロナ禍の為、実施していない。

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	1	療育医療センター内で実施している。	マニュアルを分かりやすく伝えると共に、訓練を実施した際には保護者に情報提供を行っていく。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	コロナ禍の為、前期訓練は机上で実施した。	非常経路の掲示をお伝えすると共に、訓練を行った際には保護者に情報提供を行っていく。
非常時等の対応	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	5	0	保護者への聞き取りにより確認している。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	5		食事提供を行っていない。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	ヒヤリハットを報告する体制は整えている。	日々の振り返りの中でも検証をする他、細かく注意していく。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0		研修に参加する機会の確保に努める。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	0	5		身体拘束の事案なし。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。